

Zoom開催

日本介護福祉学会
2023年度2回連続全国公開講座

参加
無料

第1回

どんな介護を利用したいですか？

利用者から聞く
介護福祉スタッフに求めること

2.14 (水)
13:00-15:00

コーディネーター

加瀬 裕子 氏

(日本介護福祉学会 会長)

報告者

鎌田 松代 氏

(家族当事者: 認知症の人と家族の会 代表理事)

コメンテーター

及川 ゆりこ 氏

(日本介護福祉士会 会長)

神津 幸夫 氏

(未来の当事者: ウォッチング多摩の会 代表)

今井 雅子 氏

(当事者: 一般社団法人ぐるり 代表)

第1回を踏まえて

要望にどう応えていくか

介護福祉士としての専門性の
内実をどう考えるか

第2回

3.18 (月)
13:00-15:00

コーディネーター

加瀬 裕子 氏

(日本介護福祉学会 会長)

報告者

金山 峰之 氏

(介護現場の立場から: ケアソーシャルワーク研究所)

コメンテーター

古川 和稔 氏

(東洋大学 教授)

及川 ゆりこ 氏

(介護福祉士の立場から: 日本介護福祉士会 会長)

永嶋 昌樹 氏

(研究者の立場から: 日本社会事業大学 准教授)

※2回連続で参加していただくことが理想ですが、どちらかだけの参加も可能です。

お申し込み方法

下記URLのフォーム、左記QRコードから
お申込みください。

<https://forms.gle/81d6NBHZomtL8FWd8>



介護福祉サービスに関わる皆さま
一人一人を大切にする介護をしたいと思う皆さま

職場内研修としても、ぜひご参加ください。

お問い合わせ

kaigo.koukaikouza2022@gmail.com



\本公開講座の趣旨/

利用者の自立・Well-Being・の実現を支える 介護福祉になっていくために

・・まずは現状の「介護」への、利用者さんからの声に耳を傾けつつ、介護福祉士として、今どういう力量（能力・技術・など）を高めなければならないのか、一緒に考えてみませんか。・・

現状は、「質」を気にしない
⇒ 誰でもできる「介護」になっていますが・・・

センサー類やDX機器の
活用が可能と考えられる
(複雑な判断を伴わない)
介護福祉サービス

適切なコミュニケーションと
複雑な判断をともなう
(複雑な要素への配慮が必要な)
介護福祉

今、私たちが
問われている
事は何か。

進む、介護ロボットや
センサーの開発
単純なコミュニケーション対応
↓
AIによる判断

利用者と共に生きる未来の
Well-Beingを創る
(誰でもできる「介護」ではなく)
介護福祉専門職でなければでき
ない介護福祉とは何か

介護動作ロボットによる介護
「人間」でなくとも良い？

・・21世紀（近未来）の
介護福祉のあり方を考える・・

現在進行形
生産性向上
費用の抑制

積極的に
活用しながら

社会的弱者も自由楽しく生きやすい社会でなければ、その社会は発展しない（人口減、国家もコミュニティも滅亡へ）。
(仮説として) その最も基本部分を支える一つが「介護福祉」の仕事。当然、それは量とともに「質」を要求される。だからこそ「専門職」が期待される。

